

10 キノボリキヌキリグモ (サラゲモ科)

兵庫県ランク:A

Herbiphantes longiventris

環境省ランク:-

種の概要

体長雌雄3.5~4.5mm。ブナ林や溪流沿いの大木の樹幹などのコケ上に生息する。若齢時はシート状の網を張るが、成長とともにコケの上に簡単な糸を張り巡らすようになる。アオシノブゴケ、チャボヒラゴケ、コハイゴケ、フトリュウゴケ、トラノオゴケ、オカムラゴケなど。北海道、本州の山地に分布。海外ではロシアの沿海州に分布。



県内における生息状況及びその他特記事項

岸田川、矢田川、佐津川、竹野川、円山川、千種川などの源流部の溪谷の湿潤なブナやトチノキなどのコケむした樹幹に生息しているが、乾燥した地域では確認できていない。コケに擬態した体色でコケに依存度が高いと思われる。

写真提供:本庄 四郎

保護上の留意点

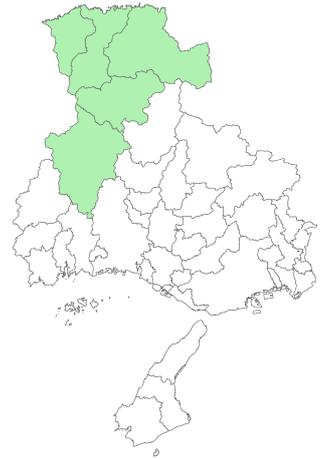
巨木が立ち並ぶ湿潤な溪谷環境を保全することが本種の生息環境の維持につながるとされる。生息環境としてのコケ群落も合わせて保全すべきである。

県内分布

宍粟市、豊岡市、養父市、香美町、新温泉町

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	
	捕獲	
特殊性	遺伝	
	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	○



【執筆者】本庄 四郎